

(別紙3)

事業所名 グループホームとちの木荘

目標達成計画

作成日: 令和2年1月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	33	職員の知識・技術・経験不足から重度化した入居者の介護に十分対応できないことがある。(職員がいる。)	職員が重度化した介護の知識・介護技術を習得し入居者の心身の状態にあった介護が実施でき、安楽と安心を提供できる。	①特養主催等の介護研修に参加する。 ②職場研修委員会で重度化した介護についての研修を検討・企画・実施する。 ③特養の管理栄養士から栄養や高齢者の食事形態、献立作成についての話や助言を受けて美味しい食事を提供する。 12ヶ月
2	35	地域密着型の施設として地域と協力・連携して消防訓練ができていない。さらに、自然災害に対する訓練もできていない。	1. 地域と施設の消防訓練について検討し訓練ができる。 2. 自然災害に対する避難訓練について検討できる。	①地域の消防団の方にひだまりの会に参加してもらいGHの役割・様子を理解してもらう。 ②地域の消防団に声かけし消防訓練の様子をみてもらいGHの実態を知ってもらう。 ③GHの安全対策委員会を中心に自然災害(地震)に対する避難訓練について検討し要領を策定する。 12ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月